

トレイルブレイザーズ・テンピースプラス The 11th !

4月28日(木) 19:00 杉並公会堂 大ホール

ブリティッシュ・スタイルから発想を得た編成でお馴染みのトレイルブレイザーズ・テンピースプラスの第11回コンサートが行なわれ、学生から年配まで、幅広い客層で会場が賑わった。

第1部では金管アンサンブルの王道である2曲を演奏。中でも『ニューヨークのロンドン子』はメンバーの星野氏の編曲で新しくなったテンピースプラス版のアレンジで初演され、オリジナルからさらに音色の変化に富んだ作品に生まれ変わり、他では聴くことのできない貴重な演奏となった。

第2部は本人たちと深い交流のあったゴフ・リチャーズ作曲の『トレイルブレイズ』でスタート。どの演奏も息の合ったアンサンブルで、12人とは思えないオーケストレーションに魅了された。

コンサート衣装のカラフルなベストはリーダーである黒沢氏の手作り。メンバー一人ひとりの人柄が溢れ出すような、見た目にも美しいコンサートとなった。

この編成での楽譜も発売されていて、公式HPからチェックが可能だ。



公式 HP はコチラから



写真:WAVE 鷹松 徹

前列左から：依田泰幸／星野 究／佐藤秀徳（コルネット）、上條浩史（フリューゲルホーン）、鈴木克博（アルトホルン*）、山戸宏之（バリトン）、黒沢ひろみ（Euph.）、岩井英二（Tub.）、石井 弦（B.Tb.）、渡邊善行（Tb）
後列左から：服部 恵／東 佳樹（Perc）
(*日本で言うアルトホルンは、本國イギリスではテナーホーンと呼ばれている)

Twilight Trombone Quartet

～ありそうでなかった！笑って学べる音楽劇～♪西洋音楽物語Ⅱ♪

5月14日(土) 14:00 かつしかシンフォニーヒルズ アイリスホール

今年4月に4thアルバムを発売したTwilight Trombone Quartet (TWTQ) の記念コンサートが開催された。

4thアルバムのタイトルにもなっている『ネクステージ』で演奏会がスタートすると、客席は4人は思えない重厚なサウンドに一気に釘付けとなった。

その後メンバー編曲の演奏が続く中、第1部最後の曲を飾ったのは、多くの吹奏楽作品を世に送り出し、その名を馳せている小長谷宗一氏作曲の『トロンボーンカルテットのための「夢のまた夢」』だ。当日は小長谷氏本人も来場し、TWTQと握手を交わすなど、その場に居合わせた来場者にとってはとても贅沢な瞬間だった。

第2部では“笑わない瞬間がない!?”ほどの、笑いが溢れた演劇を魅せてくれた。現代に生きる博士「ドク」と音楽の勉強をしている「今村青年」が、バッハやベートーベンが生きた時代にタイムトラベルし、音楽知識を学ぶという喜劇。TWTQメンバー一人ひ



左から今村岳志／東川暁洋／廣田純一(Tb)、佐藤敬一朗(B.Tb)
とりの実力が高いからこそできるハイクオリティなパフォーマンスだった。

今回、記念公演聴き逃した人には、公演で演奏された曲目も入っているCDをぜひオススメしたい。



「NEXTAGE」[opus55]